

きらきら眼鏡 (2018)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 日本

時間 121分

初公開日 2018/09/15

公開情報 S・D・P

映倫 G

【キャッチコピー】

自分の人生を愛せないと嘆くなら、
愛せるように自分が生きるしかない。

【解説】

森沢明夫の同名小説を「カミングアウト」「つむぐもの」の犬童一利監督が映画化したヒューマン・ドラマ。原作者の地元・船橋市を舞台に、市民参加型のご当地映画として製作。主演は映画デビューの新人、金井浩人と「そのみにて光輝く」の池脇千鶴。共演に古畑星夏、杉野遥亮、片山萌美、安藤政信。最愛の恋人が事故で亡くなって以来、悲しみから立ち直れずに無気力な人生を送っていた青年・明海は、ふと手に取った一冊の古本をきっかけに、あかねという女性と出会う。いつも笑顔で前向きな彼女は、不思議に思う明海に、見たものを輝かせる“きらきら眼鏡”をかけているからだと教える。しかし、そんなあかねには、恋人が余命宣告を受けているというつらい現実があった。それでも懸命に明るく生きようとするあかねに、次第に心惹かれていく明海だったが…。

【クレジット】

| | | |
|---------------|-------|----------------|
| 監督 | 犬童一利 | |
| プロデューサー | 相羽浩行 | |
| アシスタントプロデューサー | 杉浦美奈子 | |
| 原作 | 森沢明夫 | 『きらきら眼鏡』（双葉社刊） |
| 脚本 | 守口悠介 | |
| 撮影 | 根岸憲一 | |
| 美術 | 吉川都和 | |
| 編集 | 佐々木弥生 | |
| キャストイング | 前信介 | |
| 音楽 | 神村紗希 | |
| 照明 | 左納康弘 | |
| 録音 | 根本飛鳥 | |
| 効果 | 勝亦さくら | |
| 助監督 | 加藤毅 | |
| 出演 | 金井浩人 | 立花明海 |
| | 池脇千鶴 | 大滝あかね |
| | 古畑星夏 | 松原弥生 |
| | 杉野遥亮 | 小山田孝之 |
| | 片山萌美 | 秋野正枝 |
| | 志田彩良 | |

| | |
|-------|-------------|
| 安藤政信 | 木場裕二 |
| 鈴木卓爾 | |
| 大津尋葵 | |
| 成嶋瞳子 | |
| 菅野莉央 | |
| 大西礼芳 | |
| 長内映里香 | |
| 山本浩司 | |
| モロ師岡 | Moro Moroka |